

令和5年度

環境経営レポート



対象期間 : 令和5年4月～令和6年3月

発行年月日 : 令和6年5月27日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境経営目標	6
6 環境経営活動計画	7
7 環境目標の実績 教育訓練・避難訓練・献血活動の様子	8
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	10
10 代表者による全体評価と見直しの結果	10
11 情報公開事項	11
12 処理方法・処理工程	12
13 受託した廃棄物の収集運搬処理量	13
14 汚泥リサイクルセンター産業廃棄物の処理工程	14
15 産業廃棄物処分及び運搬許可一覧	15
	16 ~19

1 挨拶

弊社は、創業51年を迎え創業来、生活環境の保全維持に努めてまいりました。特に水資源の循環事業には注力し、安心して引用できる水の提供から、使用され河川に排出される水を浄化、元の状態に戻し、綺麗な水として排出するまでを「一連の社業」と位置づけ、地域の皆様安心してお使い頂いております。東北大震災から13年が経過し、積極的に協力してきました復興事業も落ち着き、現在では地域開発よりも地域環境保全が重要視され、SDG'sをはじめとする地球環境問題へ取り組みがクローズアップされております。局地的集中豪雨や異常気象など年々増加傾向にある異常気象に対応すべく、半世紀の経験と知識を従業員並びに地域の皆様とともに、限りある資源のリサイクル化など、循環型社会の確立をめざし取り組んでまいります。

代表取締役社長

今野 秀實

2 環境方針

《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境への負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出の削減
 - (2) ゴミの分別・削減
 - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車輛運行ルート効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。
- 8 環境経営の継続的な改善を行います。

制定日：平成26年1月4日

改訂日：令和3年6月24日

株式会社 理水興業

代表取締役社長 今野 秀實

3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星が丘2丁目16番12号
工務部 岩手県花巻市中北万丁目97番地
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1

3 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 環境事業部 部長 TEL : 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県3（登）中第3号 R4.1.7~R7.1.6
盛岡市 27-12 R4.1.7~R7.1.6~R7.1.6
浄化槽清掃業 花巻市第493-2号 R6.4.1~R8.3.31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、
中間処理（汚泥）
(2) 一般廃棄物収集運搬業
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生
許可番号 別途記載（P11参照）

3. 工務部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等
(3) その他の工事 電気工事 建築工事等
許可番号 特定建設業
岩手県知事（特-24）第4479号 R4.7.18~R9.7.17
一般建設業
岩手県知事（特-24）第4479号 R4.7.18~R9.7.17
排水設備工事指定 花巻市 R5.4.1~R10.3.31
大船渡市 R5.4.1~R10.3.31
紫波町 R5.4.1~R10.3.31
北上市 R5.4.1~R10.3.31

5. 主要売上 令和5年度

16 億

項目	本社	工務部	リサイクルセンター
従業員	61	21	4
延べ床面積	646.82	131.36	41.62

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

県内一円

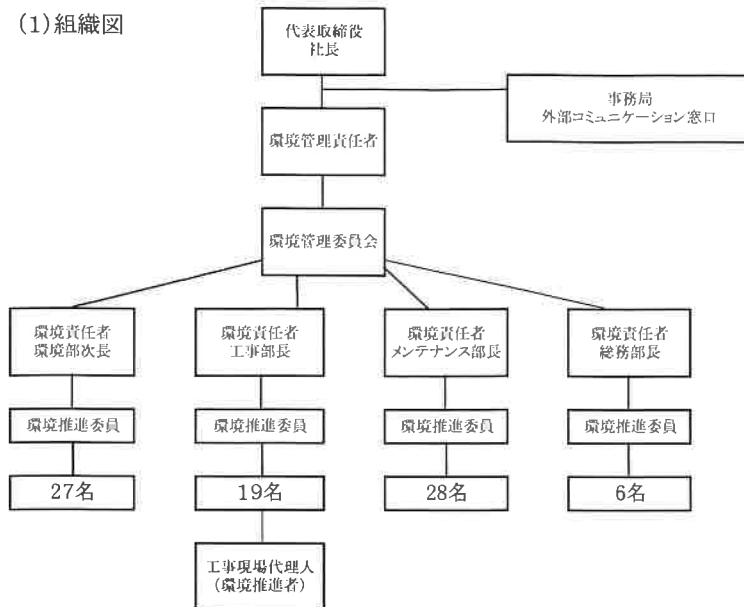
8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理（メンテナンス）・清掃を目的として創業
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃を主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処分、管工事等を追加
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更
平成8年4月 産業廃棄物処分業許可（岩手県）取得、
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始
平成11年3月 特定建設業許可取得（特-10）4479号管工事業
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター
（汚泥中間処理施設）竣工・操業開始
平成27年6月 基準適合産業廃棄物処理業者認定 ★★★ 三ツ星認定取得
平成27年6月 いわて地球環境にやさしい事業所認定
平成27年9月 岩手県再生資源利用認定製品 建設系汚泥改良土【再生土R1】認定

4 実施体制

1 組織

(1)組織図



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・効果的にな実施体制の構築 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・組織の構築 ・課題とチャンスの明確化 ・環境方針を制定し、全社員に周知させる。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。 ・環境責任者への教育、指導に努める。
環境管理委員会 (環境推進委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。 ・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合、不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。運用状況を把握し、結果等の情報の収集を行う。 ・地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA2.1目標達成の取り組みを推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の元必要な是正処置・改善を行う。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・環境責任者は各部門の従業員に対しての教育訓練、及び指導を行う。
現場工事代理人 (環境推進者)	新規入場者作業員への環境配慮事項緊急事態の教育指示伝達
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	720,047	742,523	690,656	692,472	694,728
購入電力使用量	kwh	224,319	231,964	227,142	234,034	226,184
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	19,537	9,087	12,646	13,299	13,231
受託産業廃棄物 (中間処理)	m ³ /年	6,704	7,058	6,276	6,412	6,383
産業廃棄物排出量	t/年	1,407	666	380	998	585
一般廃棄物排出量	kg/年	11,360	15,167	11,855	12,539	12,577
総排水量(水資源投入量)	m ³ /年	5,277	5,398	5,923	6,324	6,964

2 環境経営目標の設定

当社では、令和6年度の目標基準を令和5年度を基準年度として
中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

コア指標	重要度	現取組	リスク	環境目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 (令和2年度) 基準値			
							R3年度	R4年度	R5年度
二酸化炭素排出量	2	2	3	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%) kgCO ₂	128,971.98	1.0	2	2
	2	2	3	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	118,734.24	1.0	2	2
	2	2	3	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	472,405.33	1.0	2	2
	2	2	3	灯油の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	22,240.75	1.0	2	2
	2	2	1	LPG等の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	170.78	1.0	2	2
廃棄物排出量	3	2	3	一般廃棄物の削減	削減率(%) kg	15,167	1.0	2	2
	3	2	3	産業廃棄物の削減	削減率(%) kg	665,774	1.0	2	2
	3	2	3	特管産業廃棄物の削減	削減率(%) kg	400	1.0	2	2
総排水量	2	3	2	節水(上水を基準とする)	削減率(%) m ³	1,444	1.0	2	2
環境配慮 工事・製 品・サー ビス	1	1	2	環境配慮工事	増加率(%) 件	0	3	3	4
	2	1	3	エコ商品・リサイクル部品推奨	増加率(%) 件	30	3	3	3
	2	2	3	環境苦情	件	8	0	0	0
	2	1	2	顧客への提案・情報提供	件	0	3	2	2
社員教育				EA21取組み教育	回	1	3	3	3
				緊急事態訓練	回	0	3	3	3
				資質向上教育	回	0	1	1	1
地域貢献				重機類の整備・点検の徹底	%	100	100	100	100
				献血活動	人	30	40	50	50
				ボランティア	人	50	60	70	70
				地域清掃	人	50	60	70	70

重要性: 3:最も重要 2:重要 1:少し重要 現取組: 2:十分に取組んでいる 1:取組んでいる 0:取組んでない リスク: 3:非常に大きい 2:有る 1:不明

※令和5年度までは平成28年12月公表の東北電力の購入電力の二酸化炭素排出整数0.556kg-CO₂/kwhを使用した

6 環境経営計画

当社では、環境経営方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでいます。今年度から、取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	総務	環境	工事部	メンテ	評価等	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	○	○	○	次年度は部分照明のメンテナンスを行う事
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	○	○	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	○	○	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	△	△	○	
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房25℃、暖房23℃）を順守する。	○	△	○	○	昨今の気候変動により夏の暑さがましてくているので設定気温自体の見直しも必要
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。	○	△	○	△	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	○	○	○	
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	×	△	△	○	昼休みについては個々が気を付ければクリアできる。OA機器についても切り替える対象機器については最新の物を選べるので省エネにつながっている。
		②残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	○	○	○	○	
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	○	○	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。	○	○	○	△	
	車両その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	○	×	○	△	安全運転にもかかわる部分もあるので、安全運転講習会は毎年行うようにし、②と④の部分については必ず全社員に徹底をさせること
②急発進・急加速はしない。		○	×	○	○		
③冷暖房の控えめ使用		○	△	○	○		
④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。		○	○	○	○		
⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。		△	○	○	○		
⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする		△	△	○	○		
⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。		△	○	○	○		
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	△	○	○	裏紙を使用する人と、そうでない人がいるので部署での評価に○がつかない傾向がある。とりあえず、印刷してしまう傾向があるので紙の使用量を減らし一般廃棄物の減少にもつなげていけるように呼び掛ける。
		②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する	△	△	○	○	
		③帳簿見直しによる印刷物の削減	△	△	△	△	
		④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	○	○	○	○	
		⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○	○	○	○	
		⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する	○	○	△	○	
		⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	○	○	○	○	
		⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	○	○	○	○	
	産業廃棄物	①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	△	○	○	○	在庫管理の徹底を促す
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	△	○	○	○	
③在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす。		△	○	△	○		
節水・排水	用水・排水	①節水の表示を行う。	○	○	○	○	水の使用については、全社員が取組み徹底している
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	○	○	○	
		③水道を流しながら使用しない。	○	○	○	○	
		④トイレ用水の節水に努める。	○	○	○	○	
その他	施設・設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	○	○	○	○	評価できている
社員教育		①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	△	○	△	○	来年度は全社員を対象とした環境教育を行うこと
		②朝礼、夕礼の場において社員に周知理解を高める。	△	△	○	○	
地域貢献		①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○	△	△	△	評価できている
		②現場周辺の清掃活動を行う。	○	△	△	△	

○：評価できる △：まずまず評価できる ×：評価できない

7 環境経営目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した令和2年度の数値を基準に今年度（令和5年）の実績についての比較を元に、評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度			環境目標の達成状況
		令和2年度	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	128,972	2%削減	126,393	125,758	○
2、LPGの二酸化炭素		171	2%削減	167	120	○
3、ガソリンの二酸化炭素		118,734	2%削減	116,360	118,752	×
4、灯油の二酸化炭素		22,241	2%削減	21,796	16,618	○
5、軽油の二酸化炭素		472,405	2%削減	462,957	433,479	○
6、二酸化炭素合計		742,523	2%削減	727,673	694,728	○
7、一般廃棄物	kg	15,167	2%削減	14,864	12,577	○
8、産業廃棄物	kg	665,774	2%削減	652,459	585,429	○
9、特管産業廃棄物	kg	400	2%削減	392	0	○
10、水使用量	m ³	1,632	2%削減	1,599	1,469	○
12、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
13、社員教育	回	2回		3回	1回	1回
14、その他（地域貢献）	回	2回		2回		1回

環境活動の状況

*** 社員教育 * 緊急訓練 * 献血活動 * 地域清掃活動 ***

*** 処理場にて吸引車輛からの油漏れ対応訓練の様子 ***



*** 全社員対象とした安全運転講習会 ***



*** 地域貢献活動 * 5班に近隣の住宅街のゴミ拾いを行いました ***

*** 緊急時 火災避難訓練 ***



(地域貢献活動・消火訓練 7月30日実施)

8 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境経営計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	部分照明や休み時間、退社時の消灯について各自務めているが、照明機器の定期的な清掃と、LED化がまだ進んでいない。	80%
	冷暖房	暖房については、昨今の暖冬のせいもあり設定温度が守られていたが、夏の気温の高さでエアコンの稼働時間が長くなるとともに設定温度も低くなってしまっていた。	60%
	節電	電力について基準年及び昨年よりも使用量がおさえられていた。	70%
	車輛その他	今年度は、ガソリンの使用量がやや増加となった。営業車と浄化槽管理や各現場まで向かうバンについてもエコドライブと行き先までのルートの見直し、極力同乗するようにして使用燃料の削減に努める。	50%
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	社内での可燃・不燃ごみ、資源ゴミの分別は浸透してきている成果か、基準年よりは排出量も削減できてはいたものの、事務所の引越しもあったせいか昨年よりは増加となった。	100%
	産業廃棄物	排出量は目標年、昨年共に減少することができたが、工事の委託工事の受注によっても廃棄物の処理量については大きくかわってくるので、今後廃棄量が増えた場合についても廃棄物の分別の徹底は基より、排出先の選定し処理費用の削減にも努めるようにする。	90%
	受託産業廃棄物	昨今は、排出事業者の意向で理立ではないリサイクル処理の方法を選択される事も増えてきたが、未だ分別の徹底が成し得ていないケースも多くリサイクルできる廃棄物も焼却処理に回ってしまうことも少なくない。極力排出事業者自身での分別を徹底させ、リサイクル率の向上を促す。	80%
	建設副産物	工事関係での、がれき類（コンガラアスガラ）の排出量が少なかった事もあり、排出量の削減につながった。	100%
節水排水	用水・排水	今年度は、本社とリサイクルセンターどちらの使用量も増加傾向にあった。	50%
その他の取組	施設・設備	事務所の入替（引越し）があり、使用した設備機器については省エネの物を選定した。	100%
地域貢献		例年通り、ゴミ拾い献血活動とどちらも実施できた。	100%

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

業務の状況（受注量）にもよって排出量には影響が生じるが、その中でもエコドライブやルートの見直しの徹底、節電についても服装や空調については各自工夫を凝らして、室温を設定するなど普段からできる省エネ活動を引き続き行う。

(2) 廃棄物の排出削減

適正処理、分別は引き続き周知徹底を行い、排出量についても各部に表として前年度との比較ができるように見える化をする。

(3) 節水（排水対策）

普段使用する上水（給湯室からの）については、同じように節水に努め、業務については洗車時の使用量を意識したり、または貯水槽や配管洗浄業務で使用する水量についても適切な量かどうか、できる限りの範囲で再度確認することを呼びかける。

(4) 地域貢献に関する取組

引き続き、近隣の衛生環境の美化に努め、献血の他にも活動の幅を広げていく。

3. 令和6年度以降の新中期計画

表2 新環境経営目標

コア指標	重要度	現取組	リスク	環境目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 (令和5年度) 基準値			
							R6年度	R7年度	R8年度
二酸化炭素排出量	2	2	3	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%) kgCO ₂	125,758.30	2 123243	2 123243	2 123243
	2	2	3	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	118,752.19	2 116377	2 116377	2 116377
	2	2	3	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	433,479.01	2 424809	2 424809	2 424809
	2	2	3	灯油の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	16,631.36	2 16299	2 16299	2 16299
廃棄物排出	3	2	3	一般廃棄物の削減	削減率(%) kg	12,577	2 12325	3 12200	3 12200
	3	2	3	産業廃棄物の削減	削減率(%) kg	585,429	2 573720	2 573720	2 573720
水使用量	2	3	2	節水(上水を基準とする)	削減率(%) m ³	1,469	2 1440	2 1440	2 1440
環境配慮 工事・製 品・サー ビス	1	1	2	環境配慮工事	増加率(%) 件	0	3 0	3 0	3 0
	2	1	3	働き方改革	増加率(%) 件	2	100 2	100 2	100 2
	2	2	3	環境苦情	削減率(%) 件	100 6	0 0	0 0	0 0
	2	1	2	顧客への提案・情報提供	増加率(%) 件	5 10	5 11	5 11	5 11
社員教育				EA21取組み教育	回	1	3	3	3
				緊急事態訓練	回	1	3	3	3
重機類の管理				重機類の整備・点検の徹底	%	100	100	100	100
地域貢献				ボランティア清掃活動	人				

重要性: 3;最も重要 2;重要 1;少し重要 現取組: 2;十分に取組んでいる 1;取組んでいる 0;取組んでない リスク: 3;非常大きい 2;有る 1;不明

※令和8年度までは東北電力の購入電力の二酸化炭素排出整数0.556kg-CO₂/kwhを使用する。

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において遵守状況を確認致しましたが、違反等はありませんでした。
また過去3年に於いても関係当局からの違反等の指摘、訴訟等もありませんでした。
主な関連法令の遵守状況は下記となります。

法令等の名称	条項	要求事項	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況報告	○
	第14条1項	産業廃棄物収集運搬業許可	○
	第14条6項	産業廃棄物処分業許可	○
	第15条1項	産業廃棄物処理施設設置許可	○
	第21条	産業廃棄物処理施設技術管理者選任	○
水質汚濁防止法	第5条	特定施設等の設置届(脱水施設)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第16条	第1種特定製品の管理者の判断基準 ・業務用空調機器1回/3ヶ月の簡易点検	○

10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
①環境経営方針	二酸化炭素の削減については概ね評価できる結果となった。廃棄物を取り扱う当社としても、排出量の分別については一部理解できていない従業員(特に若年層)もあり、経営方針にもあるとおり今一度、分別やその取組みの意義を理解させることは必要である。	各部署長、また環境管理委員において全社員が環境経営方針を理解し取組むことを、周知指導する。
②環境経営目標	業務の受注量に伴い二酸化炭素排出量が増加する事については、やむを得ないと踏まえつつも今年度は業績に対して目標値を達成できている面については大きく評価ができる。	例年同じような改善指示になるが、環境管理委員の活動をもっと表面化させ、会社の取組みの結果を毎月各部署で報告することを徹底させる。
③実施体制	令和5年度から組み込んだ現場工事代理人については、各現場にて環境配慮(廃棄物の分別は環境配慮工事)への呼びかけが行われており評価ができる。しかし、それぞれの役割については活動の指示と同時に評価もされていなかった。	それぞれの役職(役割)を改めて認識し、またその責任をもって職務に努める様指示をする。
④全体評価	環境負荷(エネルギー使用量、ごみ排出量など)を各々が把握し、その環境負荷をこの先どのように持続、もしくは改善させるかの目標を立て会社内で共有する。その取組を継続することで、社会からの信頼を獲得し、自社のコストの削減、環境への負荷の軽減につながるという自覚を、社員全員が理解することに努めていく。	

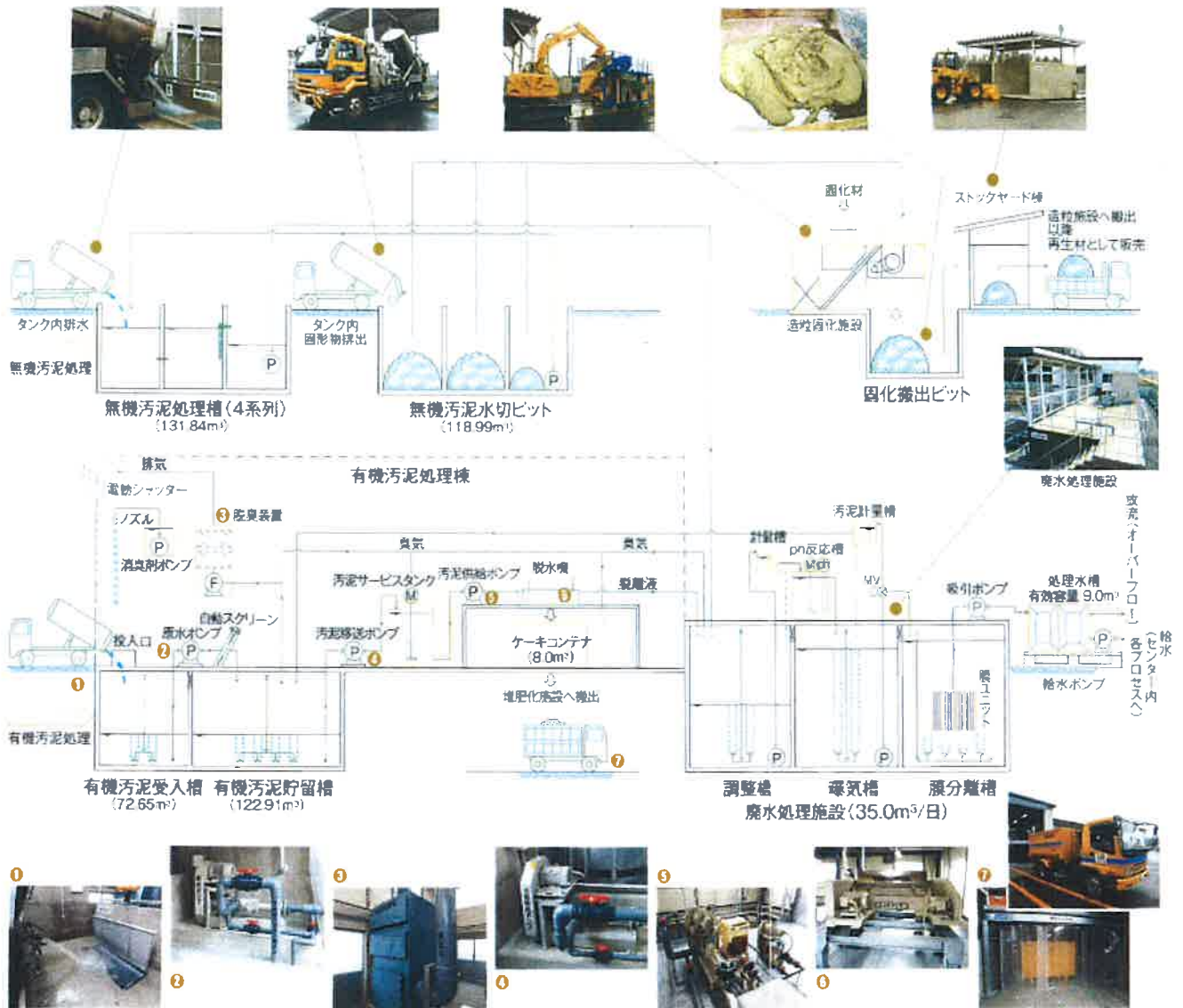
11 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名	株式会社 理水興業							
代表者名	今野 秀實							
所在地	〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12							
連絡先	電話	0198-23-5395	ファクス	0198-23-6078				
	E-mail	risui.top9@dance.ocn.ne.jp		URL	http://www.risui-kogyo.co.jp/			
事業計画の概要	当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。							
事業の範囲	岩手県内一円							
事業の規模	事業年度	令和2年度		令和3年度				
	売上高(千円)	1,192,710千円		1,614,639千円				
	産廃収集運搬量	12646.464 t		13299.336 t				
	一廃収集運搬量	3475.46t		3529.29 t				
	処分量	5501t		5246 t				
	従業員(名)	83名		84名				
法人設立年月日	昭和47年9月5日		資本金	4000万				
許可の内容	産業廃棄物処理処分量許可一覧							
	許可名	許可番号		許可名	許可番号			
		許可有効期限			許可有効期限			
	産業廃棄物収集運搬業(岩手普通)	許可	312007199(別表1)		産業廃棄物収集運搬業(岩手特管)	許可	362007199(別表1)	
		有効	R3.9.16~R8.9.15			有効	R3.4.16~R8.4.15	
	産業廃棄物収集処分量(岩手)	許可	32207199		産業廃棄物処理業(盛岡市)汚泥(移動式脱水施設による脱水処理)	許可	11022007199	
		有効	R3.4.16~R8.4.15			有効	R3.4.16~R8.4.15	
	産業廃棄物収集処分量(岩手)汚泥	許可	32207199					
		有効	R3.4.16~R8.4.15					
	産業廃棄物収集運搬業(秋田普通)	許可	504007199(別表3)		産業廃棄物収集運搬業(秋田特管)	許可	554007199(別表3)	
		有効	R2.6.22~R7.6.21			有効	R2.4.20~R7.4.19	
	産業廃棄物収集運搬業(宮城普通)	許可	400007199(別表2)		産業廃棄物収集運搬業(宮城特管)	許可	450007199(別表2)	
		有効	R4.3.12~R9.3.11			有効	R4.3.12~R9.3.11	
	一般廃棄物処理処分量許可一覧							
	一般廃棄物処理業	許可	花巻市(第244-15号)		事業系ごみ・家庭系ごみ・浄化槽汚泥の収集運搬			
		有効	R6.4.1~R8.3.31					
	一般廃棄物処理業	許可	北上市(第462号積降し)		一般廃棄物の収集運搬業			
		有効	R5.5.1~R7.4.30					
	その他清掃業に伴う業許可一覧							
	建築物飲料水貯水槽清掃業	許可	岩手県53二十三貯第2号		建築物飲料水貯水槽業			
		有効	R5.9.1~R11.8.31					
	建築物排水清掃業	許可	岩手県53二十六排第1号		建築排水管清掃業			
		有効	R2.12.16~R8.12.15					
	地下タンク等点検業	許可	地(7)第03005号		地下タンク等点検業			
		有効	R元6.1~R6.5.31					
	設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数	
		汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機	処理能力: 40m ³ /日 造粒固化施設 処理能力: 100t/日 排水処理施設	1台	4t ユニック車	2,450kg	1台
			塵芥車			4,500kg	1台	
塵芥車			1,700kg			1台		
塵芥車			4,450kg			1台		
貯水車			1,000kg			1台		
バックホー 0.45m ³			1台			冷蔵冷凍車	2,000kg	1台
ホイールローダー 1.2m ³			1台			バン	1,500kg	1台
ホークリフト 1.5t		1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台			
7t ユニック車		6,900kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,800kg	1台		
パワーゲート		1,800kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,900kg	1台		
4t ダンパー車		2,700kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,950kg	1台		
Sモービル汚泥吸引車		8,880kg	1台	7tトラック	8,000kg	1台		
Sモービル汚泥吸引車		9,120kg	1台	洗浄車	450kg	1台		
Sモービル汚泥吸引車		8,900kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台		
タンクローリー		11,160kg	1台	工作車	2,000kg	1台		
タンクローリー		11,160kg	1台	トリータ固液分離車	36m ³ /日(4.5m ³ /時間)	1台		
バキューム車		3,400kg	1台	カーネーション袋脱水車		1台		
バキューム車		3,500kg	1台	バキューム車	3,700kg	2台		
バキューム車		3,600kg	1台	バキューム者	5,200kg	1台		
バキューム車		3,600kg	1台	5t ユニック	5,100kg	1台		
積替施設面積&保管上限			保管量					
84.68m ²			35.7m ³					

12 処理方法・処理工程

汚泥リサイクルセンター パンフレット参照

無機性汚泥・有機性汚泥 処理フロー



廃棄物受入基準

収集運搬物・処理物	受入基準
汚泥	有機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
	無機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
廃棄物の処理料金については当社営業までお問い合わせください。	

13 受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

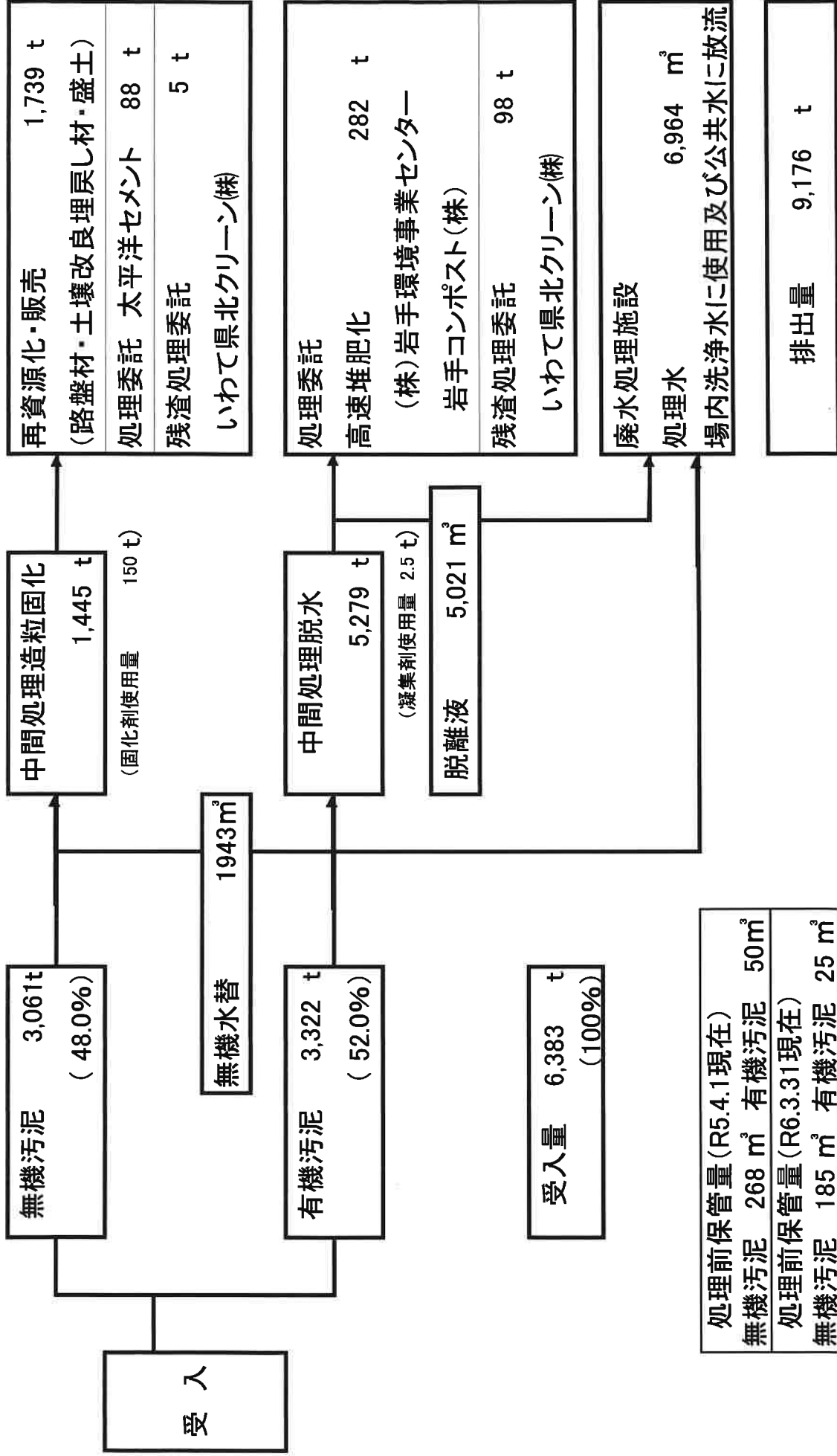
令和5年度

処理方法等	廃棄物等種類	令和3年度処理量 t	令和4年度処理量 t	令和5年度処理量 t
収集運搬	燃え殻	1.650	2.380	2.340
	汚泥	10679.167	10926.782	11230.316
	廃油	661.465	670.449	541.560
	廃酸	203.027	80.318	77.432
	廃アルカリ	153.781	320.272	359.782
	廃プラスチック	333.406	317.281	304.528
	紙くず	0.490	0.000	0.000
	木くず	11.870	16.547	30.840
	動物性残渣	146.420	464.190	316.768
	繊維くず	0.000	0.000	0.000
	金属くず	97.184	53.772	50.643
	ガラス陶磁器	25.699	31.953	34.638
	がれき類	34.440	4.890	12.990
	鉍さい	0.430	0.000	0.450
	廃油（特管）	226.752	278.420	168.904
	廃アルカリ（特管）	0.000	2.185	3.105
	感染性	49.837	108.758	77.559
	廃石綿等	0.000	1.250	0.000
	汚泥（特管・有害）	16.371	14.851	9.940
	廃油（特管・有害）	1.694	1.000	1.501
	廃酸（特管・有害）	0.000	0.000	0.000
	廃アルカリ（特管・有害）	1.067	0.000	0.000
家畜の糞尿	1.640	3.750	6.350	
強酸	0.074	0.288	1.311	
令和5年度収集運搬量合計				13230.957
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化		6,383 t
中間処理合計				
再資源化	汚泥			6,383 t

【汚泥リサイクルセンターにおける環境への負荷の実績】

		単位	R3年度	R4年度	R5年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1742229	1802723	1720633
	化石燃料	MJ	768264.2	759718.3	805527
	LPG	MJ	73	42	42
② 総物質投入量	資源投入量	t	/	/	/
	循環資源投入量	t	/	/	/
③ 水資源投入量	上水	m ³	512	270	366
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO ₂	98543.22	101964.8	97321.684
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO ₂	150406	154059	152543
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m ³	5257	6324	6383

産業廃棄物の処理工程（令和5年4月～令和6年3月）



処理前保管量(R5.4.1現在)	
無機汚泥	268 m³ 有機汚泥 50m³
処理前保管量(R6.3.31現在)	
無機汚泥	185 m³ 有機汚泥 25 m³
処理後保管量	
無機汚泥	0 m³ 有機汚泥 0 m³

受入量 6,383 t (100%)

別表. 4

積み替え保管施設の概要

所在地：岩手県花巻市天下田48番4

廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備考
燃え殻及び汚泥	—	7.02	2.4	—	屋内
廃油	—	20.84	8.8	—	屋内
廃酸	—	3.24	1.6	—	屋内
廃アルカリ	—	3.24	1.6	—	屋内
廃プラスチック類	—	24.85	15	—	屋内

別表. 5

積み替え保管施設の概要

所在地：岩手県花巻市天下田48番4

特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備考
燃え殻及び汚泥	—	7.02	1.2	—	屋内
廃油	—	11.99	3.5	—	屋内
廃酸	—	3.24	0.8	—	屋内
廃アルカリ	—	3.24	0.8	—	屋内

